

## 生き立ち

私はマニラ首都圏で生まれて、あとでカビテに引っ越しました。母と双子の姉妹と一緒に育ちました。私たちの生活は簡単ではありませんでした。お金が少なくて、よく我慢することがありました。子どものときから、母が私たちのために一生懸命働いていることがわかりました。

困難があっても、一つの夢が私の心の中ですずっと輝いていました。それは、いつか日本に住んで、日本語を学び、日本の文化を体験することです。でも、当時は夢は遠くて届かないようと思えました。勉強するためのお金や環境が十分ではなく、時々他の人と比べて落ち込むこともありました。

それでも、私は夢をあきらめませんでした。夢は大変なときでも私に力をくれました。

今、昔の自分に言えます。「大丈夫、夢はまだ生きています」と。ケンジミン日本語学習センターの助けて、私は本気で日本語を勉強し始めました。先生たちの温かいサポートのおかげで、日本はもう遠くて不可能な場所ではありません。

子どものときの夢は、少しずつ現実になっています。マニラ首都圏での私の始まり、カビテでの年月、母や双子の姉妹と一緒に経験したすべての困難が、今の私につながっています。

これからも頑張って、いつか必ず日本に行きます。その日が来たら、誇りをもって言います。「あのころの夢が、ついに叶いました」と。

私はマニラ首都圏で生まれて、あとでカビテに引っ越しました。母と双子の姉妹と一緒に育ちました。私たちの生活は簡単ではありませんでした。お金が少なくて、よく我慢することがありました。子どものときから、母が私たちのために一生懸命働いていることがわかりました。

困難があっても、一つの夢が私の心の中ですずっと輝いていました。それは、いつか日本に住んで、日本語を学び、日本の文化を体験することです。でも、当時は夢は遠くて届かないよう思えました。勉強するためのお金や環境が十分ではなく、時々他の人と比べて落ち込むこともありました。

それでも、私は夢をあきらめませんでした。夢は大変なときでも私に力をくれました。

今、昔の自分に言えます。「大丈夫、夢はまだ生きています」と。ケンジミン日本語学習センターの助けて、私は本気で日本語を勉強し始めました。先生たちの温かいサポートのおかげで、日本はもう遠くて不可能な場所ではありません。

子どものときの夢は、少しずつ現実になっています。マニラ首都圏での私の始まり、カビテでの年月、母や双子の姉妹と一緒に経験したすべての困難が、今の私につながっています。

これからも頑張って、いつか必ず日本に行きます。その日が来たら、誇りをもって言います。「あのころの夢が、ついに叶いました」と。